

秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベル

予報 警報	対象範囲 (キーポイント)	説 明			
		火山活動の状況	住民等の行動 及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等	
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある	危険な居住地域からの避難が必要	噴火による影響で、居住地域に重大な被害が切迫している場合。 噴火に伴いカルデラから火砕流、融雪型火山泥流の流出が予想された場合。 過去の事例：有史以降なし
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）	警戒が必要な居住地域での避難準備及び、災害時要援護者の避難等が必要 全山入山規制	噴火による影響で、居住地域に重大な被害が予想される場合。 噴火に伴い火砕流、融雪型火山泥流が発生し、カルデラ縁付近まで到達する恐れがある場合。 噴火に伴い噴石が居住地域の近くまで到達すると予想された場合。 過去の事例：有史以降なし
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	火口付近から居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予想される	住民は通常の生活 状況に応じて災害時要援護者の避難準備等 登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	噴火による影響が火口からおおよそ2 km以内。 噴火に伴いカルデラ内で火砕流、融雪型火山泥流が発生（確認）した場合。 噴石がカルデラ縁を越える噴火が発生した場合、または、噴火の発生が予想された場合。 過去事例：1970年女岳からの噴火
	火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予測される	住民は通常の生活。 火口周辺への立入規制等。	噴火による影響が火口から500m以内。 地震活動や噴気活動の活発化等により、噴火の発生が予想された場合 過去事例：1932年南部カルデラ内（石ボラ）での水蒸気爆発
噴火予報	火口内等	1 (平常)	火山活動は静穏	状況に応じて火口内への立入規制等	火山活動は静穏 女岳北側で弱い噴気活動が見られるが、南部・北部カルデラに目立った表面現象はない。

噴火による影響とは、噴石、火砕流、融雪型火山泥流により、現象が始まってから避難までの時間的な余裕がほとんどなく生命に対する危険性が高い火山現象による影響です。

噴石、火砕流、融雪型火山泥流で、避難道路などが通行不能となる恐れがある区域では、早期避難が必要です。